

令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合（％） 上下水道課						
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
88.80	88.50	90.10	89.50	91.10	91.70	90.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では0.6ポイント増加し、ほぼ同様となっています。目標値との比較では1.7ポイント上回りました。 （原因）アンケートの結果、昨年度との比較では、老朽管更新工事を実施した南守谷地区で増加しました。適切な更新事業への取組みや、令和元年10月に上下水道料金の消費増税相当分を値下げしたことも満足度が高くなった要因と考えられます。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

下水道放流水質基準の適合率（％） 上下水道課						
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100％です。 （原因）浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業所排水調査に基づく適切な事業所への指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値を達成できたと考えられます。				
対前年度	維持					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,277,377	4,157,851	4,047,746	4,629,864	5,243,859
人件費	99,368	95,181	86,960	0	0
トータルコスト	4,376,745	4,253,032	4,134,706	4,629,864	5,243,859

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 水道水の安定供給	維持	向上				1, 128, 239	1, 127, 095	1, 142, 983	1, 374, 667	1, 472, 378
02 汚水の安定処理	維持	低下				983, 147	753, 293	733, 660	1, 064, 714	1, 314, 058
03 雨水の適正排水	維持	向上				57, 150	21, 374	28, 950	17, 985	77, 639
04 健全な上下水道事業の経営	低下	低下				235, 327	227, 171	217, 427	184, 423	304, 943
99 施策の総合推進						1, 873, 514	2, 028, 918	1, 924, 726	1, 988, 075	2, 074, 841

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

新型コロナウイルス感染症対策として上下水道基本料金を6箇月減免し、企業会計の純利益は昨年度以下となりましたが、料金回収率は100%以上で、良好な経営状況にあります。 また、老朽化した上下水道施設の更新や都市計画道路坂町清水線の布設替工事等のほか、設備・資産管理システムを構築し、電子化による資産情報の一元管理に着手しました。 次年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大口事業者からの料金収入の減少が懸念されるため、費用の抑制に努め、料金収納率を現状以上とするなど、安定経営に取り組む必要があります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水供給と汚水処理ができるように、経営戦略に基づく老朽化施設の更新事業とともに、新たに加わった総合地震対策計画に基づく耐震化事業を計画的に進め、適宜経営戦略を見直し、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	維持
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

安定した水道水供給と汚水処理ができるように、経営戦略に基づく老朽化施設の更新事業とともに、令和3年度に行う下水道施設の耐震診断新結果に基づき、耐震化事業を計画的に進め、適宜経営戦略を見直し、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加